



プロフェッショナル を紹介します!!

Vol.4 津野崎 絹代さん

NICUで診療看護師として活躍する津野崎さん。
現在の仕事や今後の活動目標等について伺いました。

Q 日常での業務内容を教えてください。

A 私は、小児科に所属する診療看護師として、主にNICU（新生児集中治療室）で業務を行なっています。医師と協力しながらお子さんが産まれた時の初期対応や、NICUに入院される場合の処置や検査の対応、医療的ケアをもつお子さんの退院前の調整などを行なっています。また、産婦人科病棟のお子さんの診察や相談に対する対応を行なっています。その他には院内のチーム活動としてNST（栄養サポートチーム）やRST（呼吸サポートチーム）のラウンドへの参加、特定看護師を育成するための教育にも携わっています。

Q 診療看護師を志したきっかけは、何ですか。

A 看護師1年目から血液内科や腎臓内科を主とする病棟で働いていました。自宅に帰ることを希望しながらも治療継続のために在宅医療に移行することが難しい患者さんを多く目にしていました。海外にはNP（Nurse Practitioner）として地域医療や病院内で自律して患者さんの管理を行なっている看護師がいることを知り、診療看護師が存在することで患者さんがより自分らしい生活をしながら治療を続けることができるのではないかと考えたことがきっかけです。

Q 経験を積み重ねる中で、職場で見える視野や気持ちに変わる事はありましたか。

A 診療看護師として診療科に配属された当初は、小児の在宅医療や地域に繋げる必要がある家庭を深く知らず、早期に家庭にお子さんたちが退院できることが重要と考えていました。しかし社会的に核家族の増加により頼れる親戚が少なく、医療的ケア児を持つご家庭が孤立しやすい環境であることや地域と密接に連携をとり、サポートしていく必要があるご家庭があることを知りました。現在は、サポートを必要とするご家庭が安心して地域の中で過ごすことができるよう、入院中から地域と連携をとる重要性を感じ実践しています。

Q 仕事で、こだわりを持っている事（マイルール）や大切にしている事があれば教えてください。

A 診療部に所属していますが看護師としての視点を活かし、指示をわかりやすく・継続しやすい方法に整えることを意識しています。また、NICUは患者さんが小さいこと、状態が変化しやすい対象が多いことが特徴としてあるので、病棟の看護師からのアクセスがしやすいことを意識しています。患者さんに関わることは最優先に解決できるよう意識しています。

Q 今後、仕事で伸ばしていきたい事（挑戦したい事、人材育成等）は、ありますか？

A 診療看護師の数は全国的にもまだ1000人程度と少ない現状があります。診療看護師を知ってもらうこと、またNICU部門でも活動できることをアピールしていく必要があると感じています。診療看護師が誕生し10年を超えましたが、まだ認知度が低いことや活動内容を知ってもらえるよう広報活動も継続していきたいと考えています。